

令和5年度 印西市民アカデミーだより

第6号

講座6：順天堂大学オープンキャンパス



順天堂は、江戸後期の天保9年、江戸の薬研堀に設立したオランダ医学塾に端を発し、今に繋がる日本最古の西洋医学塾(天保14年に「順天堂」と命名)です。幕末、江戸より下総国佐倉に移った順天堂には、全国各地から俊英が参集し、西洋医学実践の場となりました。明治時代になると、日本そしてアジアにおける西洋医学普及のリーダーとして名を馳せました。現在、順天堂大学は、医学部をはじめ8つの学部が開設されています。

今回は、スポーツ健康科学部が開設されている順天堂大学さくらキャンパス(印西市平賀学園台)を訪問しました。キャンパスは小高い丘の上であり、江戸時代は、印旛沼を望む風光明媚な地として有名なところでした。



初めに、キャンパス内のスポーツ施設を中心に見学しました。
☆陸上競技場は、日本陸上競技連盟第三種公認競技場で、天然芝のピッチおよび400m×8レーンのブルートラックが施設されているほか収容人数200人の客席および照明設備を設置。
☆サッカー専用スタジアムは、人工芝のピッチが施設されているほか収容人数500人の客席および照明設備や得点板を設置。



☆OGAWA GYMNASTICS ARENA(平成29年竣工)には、体操競技場やスカッシュコートに加え、アスレティックトレーニング(AT)ルームを併設。ATルームには、渦流浴室が設置され温冷交代浴が可能。この他にも、トレーニングルームやバレーボール館等々を見学。どの施設も素晴らしく、本学から多くのオリンピック選手やパラリンピック選手を輩出している理由がわかりました。



見学後、新講義棟・3号館でスポーツ健康科学部 涌井佐和子 准教授による特別講義「運動の効能について」を受講。年齢とともに少なくなりがちな運動量を増やすための工夫を凝らすことにより、健康はもとより脳の活動の維持にも有効であることを学びました。寝たきりや認知症の予防に役立てていきたいと思います。

受講後、学生さんたちに交じって3号館2階のカフェテリア(食堂)でランチ。メニューも豊富で美味しい！大満足の日でした。